

平成25年度 日之影町立宮水小学校 学校評価結果								
4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する								
重点 目標	具体的な取組（方策）	成果指標	成果指標に対する評価			学校の自己評価所見	自己 評価	学校関係 者評価
			教師	保護者	児童			
学力の 向上	①個に応じた指導と指導体制の充実	授業内容を理解し、基礎的・基本的な知識や技能を習得している。	3	3	3	○特別支援員と連携した指導や個別指導の充実により、各標準学力検査や県学力調査において、学力の向上が見られた。	3	3
	②Webシステムの活用	思考力、判断力、表現力を身に付けている。	3	3	3	○個の考えを伝え合う授業の充実を図ったことで、考えを意欲的に伝えようとする児童が増えた。今後も単元構成、発問、学習形態などの一層の改善をめざす。	3	3
	③「活用する力」を高める授業法の工夫・改善	忘れ物がなく、基本的な学習態度が身に付いている。	2	3	3	○基本的な学習習慣の定着については、保護者との共通理解のもと、具体的な手立てを講じていく。	2	2
	④基本的な学習習慣の定着	学級の児童が月5冊以上の読書をしている。	2	3	3	○55%の児童が達成している。今後も学級文庫の入れ替えや読書タイムの活用、貸出の励行などの読書環境を整える。	2	2
豊かな 心の 育成	①時と場に応じた挨拶会釈の励行	自分から進んで、時と場に応じた挨拶や会釈を行っている。	2	3	4	○時と場に応じた挨拶や会釈が身につくにつつまる。今後も定着に向けて継続的に指導に取り組んでいく必要がある。	3	3
		丁寧な言葉遣いができる。	2	3	3	○遊びの中で乱暴な言葉遣いになる場面が見られる。家庭とも連携しながら、日常生活での意識化を図る。	2	2
	②学級経営の充実と教育相談の実施	学級の人間関係が良好で、一人一人が楽しく生活を送っている。	3	3	3	○悩みアンケートや教育相談により、良好な人間関係が醸成されている。今後はソーシャルスキルの授業も取り入れ、充実を図る。	3	3
	③児童会活動や学校行事を通した主体性の育成	委員会や係など自分のやるべき事に対して主体的に活動している。	3	3	3	○計画的に活動の場と賞賛の場を設定し、達成感等を味わわせていく。	3	3
	④学習環境の整備と一人一鉢活動の実施	掃除に進んで取り組み、身の回りをきれいにしようとしている。	3	2	4	○率先垂範で清掃指導に当たったことで、意識が高まり、実践力が身につけてきた。今後も共通理解・共通実践で指導に取り組む。	3	3
		靴、スリッパ、自分の机など、身の回りを整える習慣がついている。	3	2	4	○家庭での実践化が今一步である。家庭とも連携しながら、整理整頓に対する意識の向上を図る。	3	3
		一人一鉢の花の手入れを責任もって行い、大事に育てている。	2	3	4	○一人一鉢の花の準備と活動の時間の確保を確実に行う。	3	3
たくま しい 心身 の 育成	①体力テストにおける個の目標設定と継続指導	体力テストの個人到達目標に基づいた体力を身に付けている。	3	4	3	○体育授業の充実や業前活動における運動の日常化を図ったことで、体力の向上が見られた。【体力テストの判定（A～Eの5段階）で、C（標準）判定以上が89.6%、A判定が21名】	3	3
	②「なわとび運動」の推進	立腰を意識した正しい姿勢で学習している。	2	3	3	○立腰指導は、折に触れて繰り返し指導していきながら、習慣化を目指す。	2	2
	③「早寝」をめざした指導と掲示物の充実	縄跳び運動に進んで取り組むなど運動の日常化・継続化が見られる。	3	3	3	○体育授業への位置付け、業前、休み時間などの活用など、継続的に行うことができた。	3	3
	④養護教諭や栄養教諭との連携による日常指導や授業	早寝、早起き、朝ご飯など基本的な生活習慣が身に付いている。	3	3	3	○養護教諭や栄養教諭と連携した授業により、意識が高まっている。今後も参観日や家庭教育学級等で家庭への啓発を図る。	3	3
		正しい食事のマナーや望ましい食習慣が身に付いている。	2	3	3	○家庭との連携を通して、望ましい食事のマナーや食習慣の定着を図る。	2	2
地域 との 連携	①家庭と連携した学習習慣の定着	学級児童が毎日の宿題や宅習を欠かさず行い、習慣化されている。	3	3	4	○懇談会を通して家庭学習や学習準備の実態について共通理解を図った。今後も継続的に意識化を図っていく。	3	3
		児童がメディアコントロールを行い、読書や手伝い等に取り組んでいる。	3	2	3	○テレビやゲームの時間を減らし、家庭学習や家読等の時間を増やす呼びかけを継続的に行う必要がある。	2	3
	②家庭・地域と連携した体験活動や交流活動の充実	PTAや地域の体験活動を通して、思いやりのある豊かな心が育っている。	3	3	3	○生産活動や祖父母参観など保護者や地域住民とのふれあいが充実するような活動内容を一層工夫する。	3	3
	③家庭と連携した弁当の日推進	他の学校の児童と交流を深め、社会性を身に付けている。	3	3	4	○町内の集合学習の効果で他校の児童とも仲良くできる児童が多い。今後もよりよい交流が図られるような授業を工夫する。	3	3
		自分でコースを選び、意欲的に弁当の日の活動に取り組んでいる。	3	3	4	○弁当の日は年間3回しか計画していないので、無理なくできる内容で実践化を目指す。	3	3